

RPGは現代の英雄叙事詩である。

私たちと大昔の物語はつながっているのか？
坂井先生、教えてください。

金剛の剣を手にした勇者が悪と戦う。RPGやアニメなど、さまざまな娯楽作品で描かれているシーンです。

このような物語は、中央ユーラシアに伝わる英雄叙事詩とともによく似ています。たとえば、こんな構造の物語があります。世界は天上界、地下世界、地上世界の3つに分かれ、それぞれ、鳥、竜、人間が住んでいる。天上界の鳥の巣を狙つて、地下世界の竜が現れる。特別な力をもつたヒーローが特別な剣を手に竜と戦う。あの有名なRPGにそっくりですよね？

英雄叙事詩は主に騎馬民族が口頭で伝えてきましたが、現在ではそのように口伝されてはいません。しかしそのエッセンスはRPGなどに姿形を変えて、私たちに伝えられていると言つてもいいかもしれません。こんなふうに今と結びつけて昔を見つめてみると、そうすると今の見え方が少し変わり、思考も深まつていく。歴史をたどつて学ぶことの意味はそこにあると思います。



教授 坂井 弘紀
総合文化学科



和光3分大学

6月のオープンキャンパス（表現学部 9月AO入試のエントリー受付開始!）
さくくり見学 13:00~16:00
6/8(土) AO・推薦制入試 募集要項配布スタート
じっくり体験 11:00~16:00
6/23(日) 全学科で 模擬授業開催

現代人間学部
表現学部
経済経営学部

小田急線鶴川駅から
徒歩約15分
<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる
和光大学